


粉づくり・ものづくり・夢づくり
—粉の技術—

粉体工業展大阪2009

併設：ナノパーティクルテクノロジーゾーン

結果報告書

主催：  **APPIE** 社団法人日本粉体工業技術協会

<http://www.appie.or.jp>

はじめに

社団法人日本粉体工業技術協会主催による「粉体工業展大阪2009」(POWTEX OSAKA 2009)を2009年10月21日(水)から24日(土)までの4日間、インテックス大阪にて開催、成功裡に無事終了することができました。

前回にひきつづき「粉づくり・ものづくり・夢づくり® - 粉の技術」をメインテーマとした「粉体工業展大阪2009」は、「ナノパーティクルテクノロジーゾーン」を併設し、170社・団体563小間の規模での開催となりました。

隣接する会場では、粉体工学会主催の秋期研究発表会が同時期に開催され、また、最新情報セミナーに加え、(社)日本粉体工業技術協会企画である「APPIE産学官連携フェア2009」を併催し、粉体工業分野での産官学の交流を意図したイベントとなりました。

出展各社による「製品技術説明会」、主催者コーナー内で行われた「技術相談コーナー」、また、土曜日開催に合わせたパウダーテクノロジーとショーなど、どれも活況のうちに終了することができました。

本展の開催にあたりご出展いただいた企業の方々、ご後援、ご協賛を賜りました関係官公庁・団体、報道機関の皆様方を始めとし、同時開催の全日本科学機器展 in 大阪、知財ビジネスマッチングフェア関係者各位のご支援、ご協力に深く感謝し心より御礼申し上げます。

ここに本展の開催結果を取りまとめご報告申し上げます。

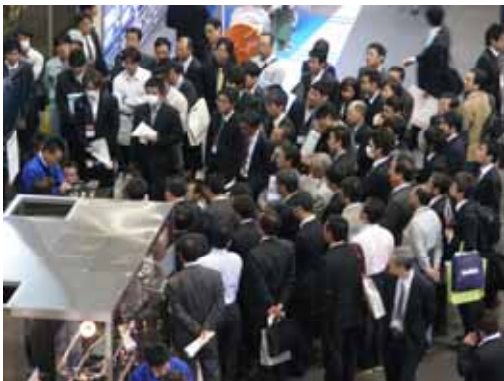
社団法人日本粉体工業技術協会 大阪粉体工業展委員会

全体開催概要

1. テーマ: 粉づくり・ものづくり・夢づくり® - 粉の技術 -
2. 会期: 2009年10月21日(水)～24日(土) 4日間 10:00～17:00 [最終日24日(土)は16:00まで]
3. 会場: インテックス大阪(南港) 1・2号館
4. 主催: 社団法人日本粉体工業技術協会
5. 同時開催:
 - 粉体工学会 秋期研究発表会 [10月21日(水)・22日(木) コスモスクエア国際交流センター]
 - APPIE産学官連携フェア2009
 - シーズとニーズのマッチング - 粉の技術 - [10月23日(金) インテックス大阪・センタービル]
 - 全日本科学機器展 in 大阪 [10月21日(水)～23日(金) 4・5号館]
主催: 日本科学機器団体連合会・フジサンケイ ビジネスアイ
 - 知財ビジネスマッチングフェア [10月21日(水)・22日(木) 3号館]
主催: 特許庁、近畿経済産業局、近畿知財戦略本部
6. 後援: 経済産業省近畿経済産業局、農林水産省、文部科学省、環境省、大阪府、大阪市、大阪商工会議所、独立行政法人産業技術総合研究所 関西センター、大阪府立産業技術総合研究所、地方独立行政法人大阪市立工業研究所、財団法人大阪21世紀協会、財団法人大阪科学技術センター、一般社団法人ナノテクノロジービジネス推進協議会、財団法人関西情報・産業活性化センター、ネオクラスター推進共同体、ナノ学会
7. 特別協賛: 粉体工学会、社団法人化学工学会、日刊工業新聞社、フジサンケイ ビジネスアイ
8. 協賛: 塩ビ工業・環境協会、大阪科学機器協会、カーボンブラック協会、(財)化学技術戦略推進機構、化成工業協会、環境資源工学会、(財)機械振興協会、(財)クリーン・ジャパン・センター、合成ゴム工業会、骨材資源工学会、材料技術研究協会、(社)産業安全技術協会、(社)産業環境管理協会、(社)色材協会、(社)資源・素材学会、人工軽量骨材協会、製剤機械技術研究会、製粉協会、石油化学工業協会、石灰石鉱業協会、(社)セメント協会、耐火物技術協会、タングステン・モリブデン工業会、(社)電池工業会、日本エアロゾル学会、(社)日本化学工業協会、(社)日本機械学会、(社)日本空気清浄協会、(社)日本計量機器工業連合会、(社)日本下水道協会、(社)日本砕石協会、(社)日本材料学会、(社)日本産業機械工業会、(社)日本試薬協会、(社)日本食品機械工業会、日本食品工学会、(社)日本水道協会、日本製薬工業協会、日本製薬団体連合会、日本石灰協会、日本石鹼洗剤工業会、(社)日本セラミックス協会、(社)日本鉄鋼協会、

(社)日本電気計測器工業会、(社)日本塗料工業会、(社)日本乳業協会、日本粘土学会、
(社)日本農業機械工業会、日本肥料アンモニア協会、(社)日本ファインセラミックス協会、
日本プラスチック工業連盟、日本フレキシブルコンテナ工業会、日本粉末冶金工業会、
日本無機薬品協会、日本薬科機器協会、(社)表面技術協会、(財)ファインセラミックスセンター、
(社)粉体粉末冶金協会

9. 入 場 料: 1,000 円(ただし、招待券持参者・インターネットからの事前登録者及び学生は無料)
*全日本科学機器展 in 大阪 および 知財ビジネスマッチングフェア と相互入場。



開催結果概要

1. 出展社数 **170 社・団体** (前回実績 178 社)
(内ナノパーティクルテクノロジーゾーン 17 社・団体)
- 内訳 (社)日本粉体工業技術協会 会員 77 社
一般 91 社
団体 2 団体
*会員と一般の比 46:54
2. 展示規模 **563 小間** (前回実績 598 小間)
(内ナノパーティクルテクノロジーゾーン 25 小間)
- 内訳 (社)日本粉体工業技術協会 会員 391 小間
一般 110 小間
主催者関連ブース 62 小間
*会員と一般の比 78:22

3. 来場者数

開催日	天気	登録入場者数*	他の展示会からの入場者**		その他***	合計
			全日本科学機器展 in 大阪 からの来場者	知財ビジネスマッチ ングフェア からの来場者		
10月21日 (水)	晴れ	2,086 名	830 名	112 名	3 名	3,031 名
10月22日 (木)	晴れ	2,789 名	908 名	130 名	57 名	3,884 名
10月23日 (金)	晴れ	2,970 名	1,195 名	1 名	-	4,166 名
10月24日 (土)	曇り	1,326 名	-	-	-	1,326 名
合計		9,171 名	2,933 名	243 名	60 名	12,407 名

*登録入場者:

開催日当日に登録をして入場した者。

**他の展示会からの入場者:

「全日本科学機器展 in 大阪」及び「知財ビジネスマッチングフェア」からの入場者には、粉体工業展大阪会場入口で他展入場証にシールを貼付。

***その他:

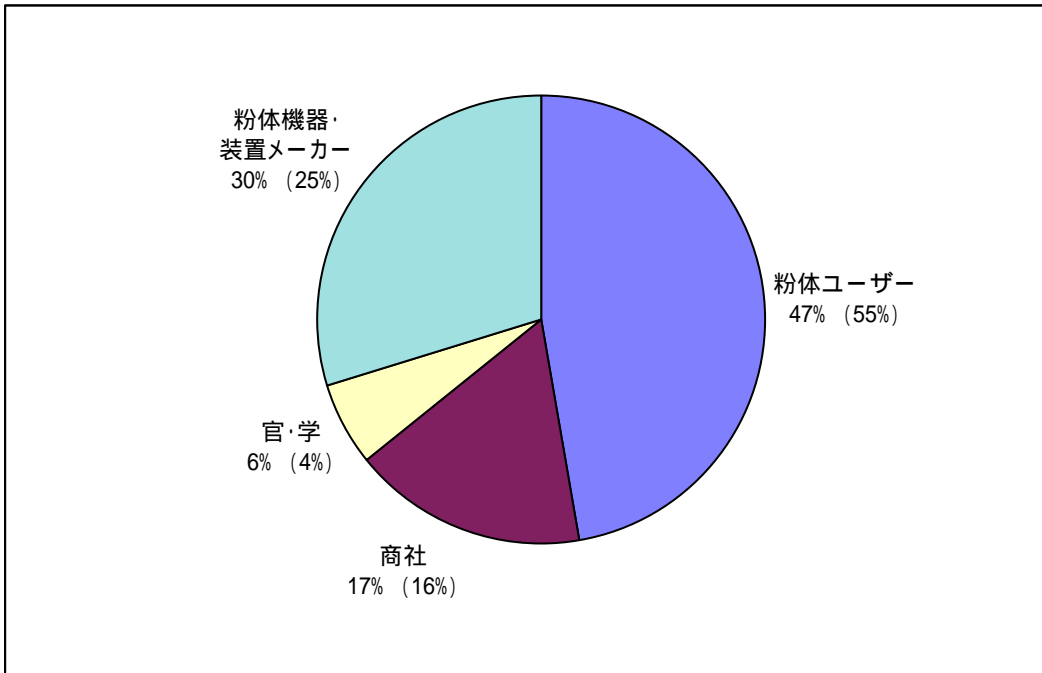
プレス関係者、VIP、学生交流会参加者等受付で登録しない入場者

注)上記の発表には、主催関係者、運営事務局関係者、出展関係者、リピーター(会期中の複数の日にわたって来場した人)は含まれておりません。

4. 登録来場者分析 (入場登録カードおよび事前登録で回答されたデータ)

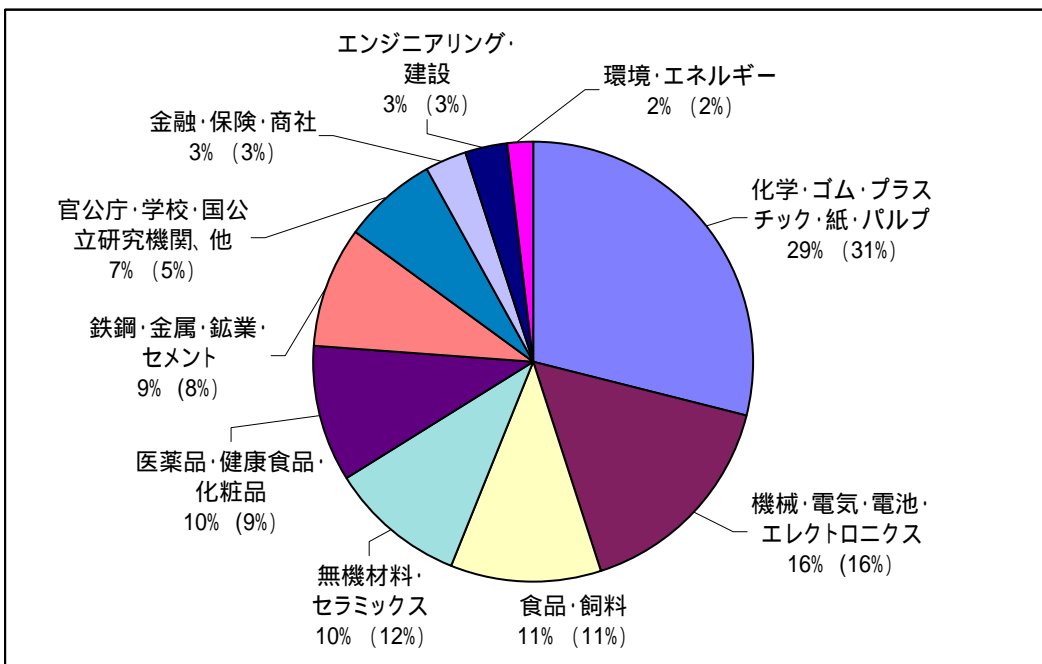
【業態分析】

()内は 07 年実績



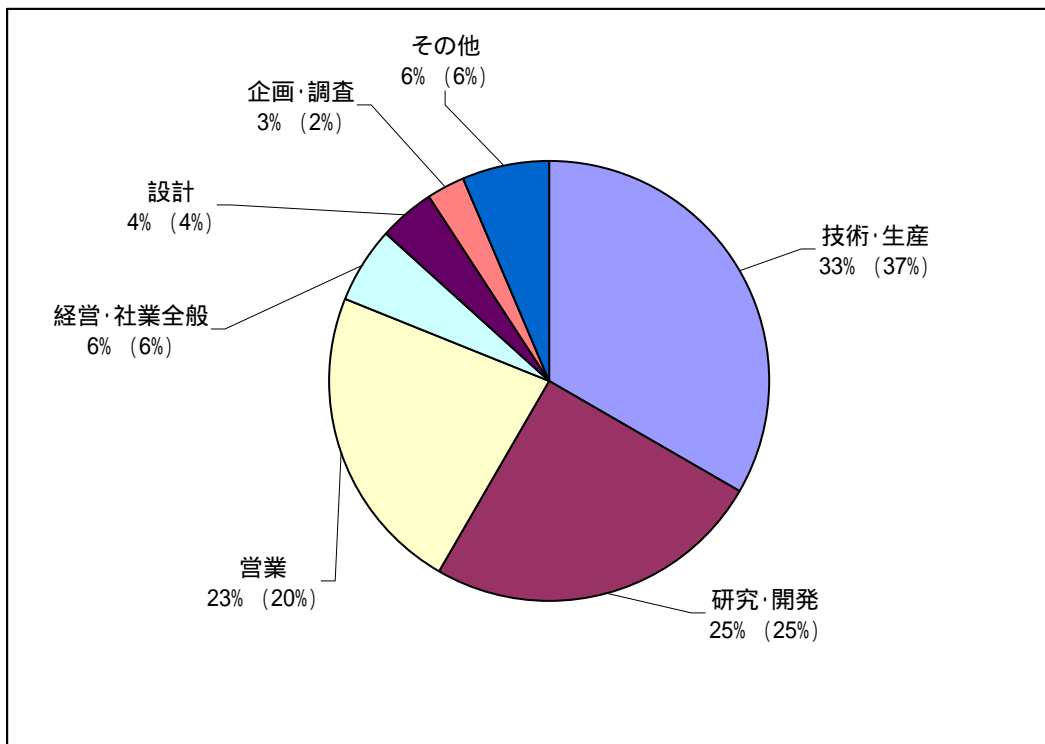
【粉体ユーザー / 商社 / 官・学の業種分析】

()内は 07 年実績



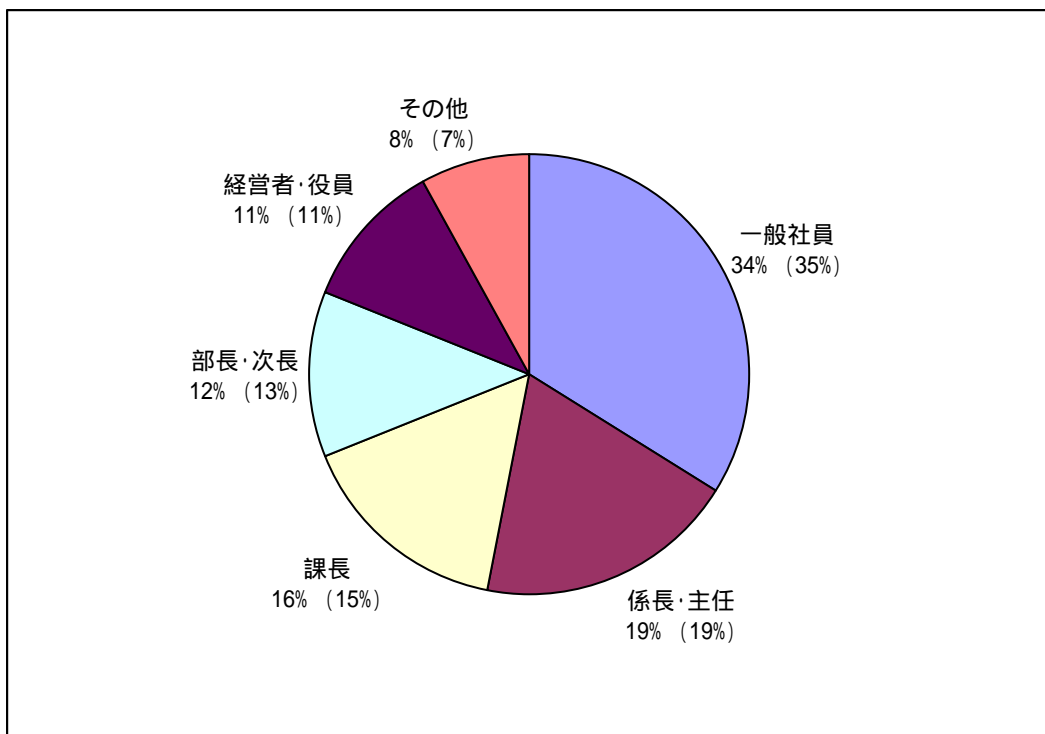
【粉体ユーザー / 商社 / 官・学の職種分析】

()内は 07 年実績



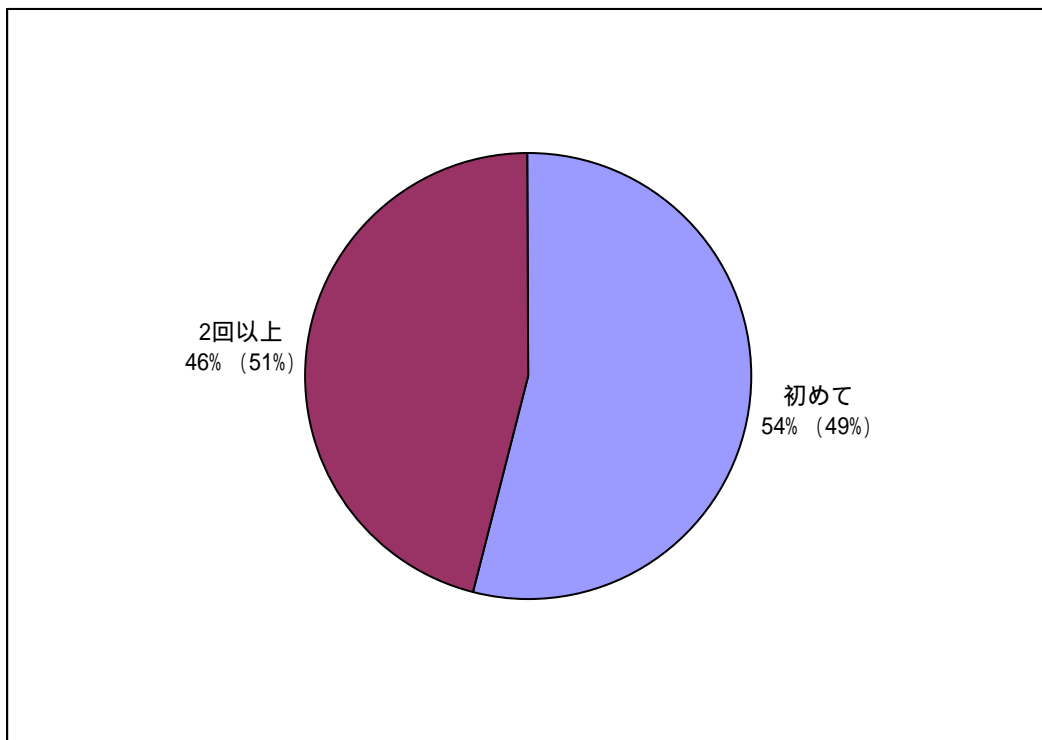
【粉体ユーザー / 商社 / 官・学の役職分析】

()内は 07 年実績



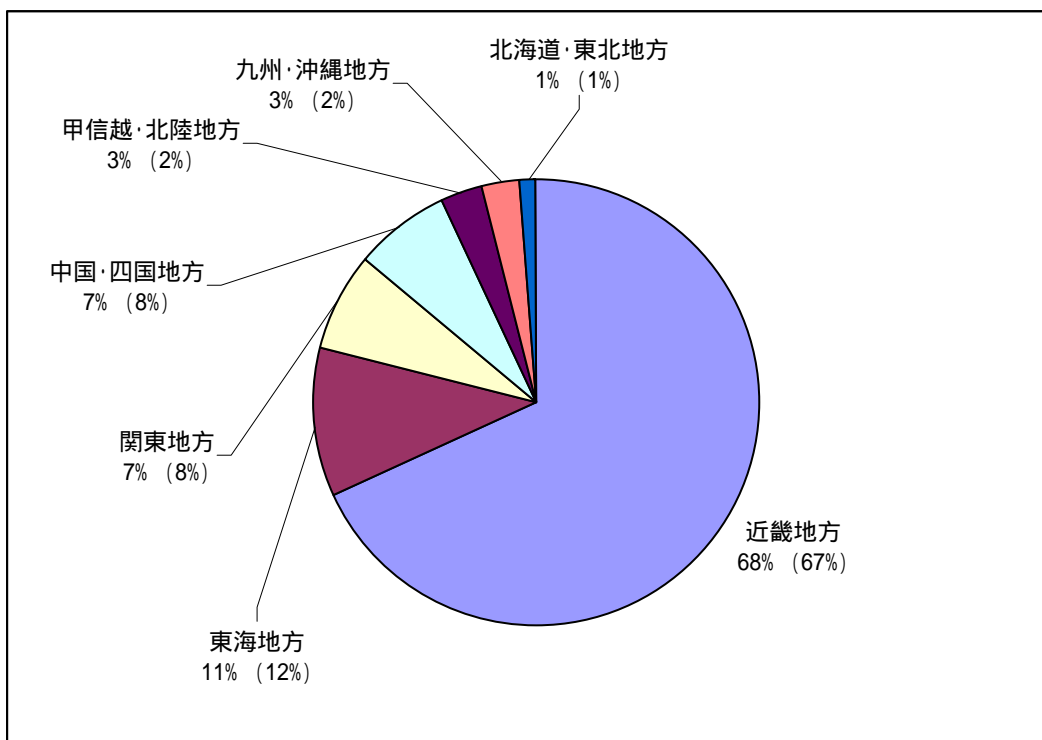
【粉体ユーザー / 商社 / 官・学の粉体工業展大阪への来場回数】

()内は 07 年実績



【粉体ユーザー / 商社 / 官・学の地域別分析】

()内は 07 年実績



5. 海外来場者

展示会場に隣接する大阪アカデミアで開催された国際会議「34th ISO/TC24/SC4 Osaka Meeting-Particle Characterization-」[10月21日(水)・22日(木)]の参加者を含め、下記の国々からの来場があった。

海外来場者は全体来場者の1.1%。

中国 / 韓国 / 台湾 / アメリカ / ドイツ / フランス / ベルギー / ブラジル / ベトナム / タイ



オープニングセレモニー、開催記念レセプション

オープニングセレモニー(全日本科学機器展 in 大阪と合同で開催)

日時：2009年10月21日(水) 9:30～10:00

会場：インテックスプラザ

参加者数：約170名

式次第：

主催者挨拶

(社)日本粉体工業技術協会

会長 江見 準

日本科学機器団体連合会

会長 入江 照四 様

フジサンケイ ビジネスアイ

専務取締役大阪代表 鹿間 孝一 様

来賓祝辞

近畿経済産業局

産業部次長 伊藤 哲郎 様

テープカット

近畿経済産業局

産業部次長 伊藤 哲郎 様

大阪府商工労働部 商工振興室ものづくり支援課

参事 古川 隆一 様

大阪市経済局 産業振興部

都市産業担当課長代理 中島 明美 様

粉体工学会

会長 日高 重助 様

日刊工業新聞社

取締役大阪支社長 曾根 洋一 様

奈良先端科学技術大学院大学

副学長 新名 惇彦 様

日本科学機器団体連合会

会長 入江 照四 様

フジサンケイ ビジネスアイ

専務取締役大阪代表 鹿間 孝一 様

大阪科学機器協会

理事長 松井 義之 様

(社)日本粉体工業技術協会

会長 江見 準

(社)日本粉体工業技術協会

大阪粉体工業展委員会 委員長 島田 啓司



開催記念レセプション

日時：2009年10月21日(水) 17:30より
会場：ハイアット・リージェンシー大阪
参加者数：約280名

式次第：

主催者挨拶

(社)日本粉体工業技術協会 会長 江見 準

来賓祝辞

粉体工学会 会長 日高 重助 様

乾 杯

(社)日本粉体工業技術協会
大阪粉体工業展委員会 委員長 島田 啓司

中締め

大阪粉体工業展委員会 副委員長 加藤 文雄・瀬尾 博幸



併催セミナー

【セミナー - ナノ粒子の曝露防止技術・管理技術セミナー】

会期： 10月21日(水) 13:00～15:30
会場： 展示会場2号館主催者コーナー 特設オープンステージ
参加人数： 延べ約200名

プログラム：

- 13:00-13:30 ナノ粒子の安全な管理のために～協会のこれまでの取り組みと今後の対応
(社)日本粉体工業技術協会
ナノ物質の安全性向上のためのガイドライン作成委員会 副委員長 伊ヶ崎文和
- 13:30-14:00 ナノ粒子曝露防止のための呼吸用保護具と環境改善設備の技術開発動向
興研(株)
- 14:00-14:30 ナノ粒子取り扱い施設の計画について
(株)日立プラントテクノロジー
- 14:30-15:00 浮遊ナノ粒子の計測について
東京ダイレック(株)
- 15:00-15:30 ナノ粒子のための局所排気装置開発動向
(株)ダルトン

【最新情報セミナー】

会期： 10月22日(木) 10:30～12:00
会場： インテックス大阪 センタービル 2F・国際会議ホール
テーマ： 「吸入曝露による粒子状物質のリスク評価
- ナノ粒子・ミクロン粒子・繊維状粒子について -」
講演者： 田中 勇武 氏 産業医科大学 産業生態科学研究所 労働衛生工学研究室 教授
参加人数： 109名



【粉じん爆発セミナー - 静電気放電による着火危険性と粉じん爆発事故・対策】

会 期： 10月22日(木) 13:00～17:00
会 場： インテックス大阪 センタービル 2F・国際会議ホール
参加人数： 175名

プログラム：

- 13:00～13:10 【開会挨拶】
土橋 律 氏 粉じん爆発委員会委員長 東京大学大学院 教授
- 13:10～14:10 危険な静電気放電 火花放電の着火性とコーン放電による貯槽の事故
榎本 兵治氏 東北大学名誉教授
- 14:20～15:20 静電気の基礎と対策
荷福 正治 氏 (独)産業技術総合研究所 環境管理技術研究部門テクニカルスタッフ
- 15:30～16:30 静電気による粉じん爆発事故事例 原因と対策
山隈 瑞樹 氏 (独)労働安全衛生総合研究所 電気安全研究グループ上席研究員
- 16:30～17:00 【総合討論】
コーディネーター 土橋 律 氏 粉じん爆発委員会委員長
" 榎本 兵治 氏 粉じん爆発委員会副委員長



同時開催・併催企画

1. 粉体工学会 秋期研究発表会 (主催:粉体工学会)

日 時: 10月21日(水)・22日(木)
会 場: コスモスクエア国際交流センター
参加者数: 183名

プログラム:

10月21日(水)

<A会場> BP(ベストプレゼンテーション)賞 対象講演
<B会場> 粉体技術セッション 10件

10月22日(木)

<A会場> シンポジウム
<B会場> シンポジウム
<C会場> 一般講演

2. APPIE 産学官連携フェア 2009

会 期: 10月23日(金) 9:30~17:30
会 場: インテックス大阪 センタービル 2F・国際会議ホール
参加人数: 174名



3. 全日本科学機器展 in 大阪 2009(主催:日本科学機器団体連合会・フジサンケイ ビジネスアイ)

会 期: 10月21日(水)~23日(金) 3日間

会 場: インテックス大阪 4・5号館

4. 知財ビジネスマッチングフェア(主催:特許庁、近畿経済産業局、近畿知財戦略本部)

会 期: 10月21日(水)・22日(木) 2日間

会 場: インテックス大阪 3号館

「全日本科学機器展 in 大阪 2009」の来場者(3日間合計:10,097名)および知財ビジネスマッチングフェアの来場者(2日間合計:2,066名)には、2号館の入口から「粉体工業展大阪 2009」に、再登録なしで入場いただいた。

5. 学生交流会(企画:(社)日本粉体工業技術協会 人材育成委員会)

会 期: 10月22日(木) 10:00~13:30

参加者数: 97名(先生8名、企業35名、学生34名、協会関係者20名)

スケジュール: 10:30~11:30 展示会見学ツアー……大学の先生方による見学ツアー

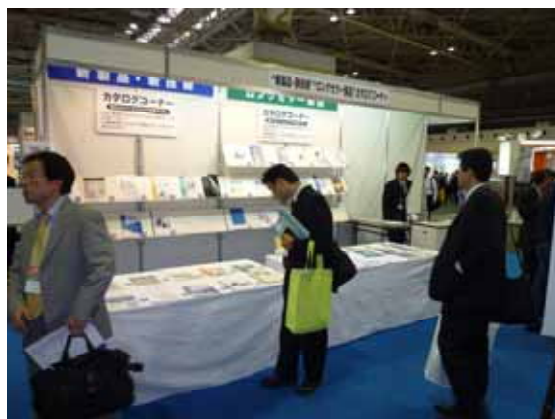
11:45~13:30 情報交換と懇親

6. カタログコーナー

13社26製品のカタログを展示。

“新製品・新技術”、“ロングセラー製品”に分けて展示、紹介を行った。

来場者が自由に閲覧し、入手希望のカタログを請求できるシステムで、カタログは後日、カタログ請求者へ直接各社から送付された。



7. 製品技術説明会

1号館内に、A・B 2会場の特設ルームを設け、出展会社から 35 テーマで、発表が行われた。

会 期 : 2009 年 10 月 21 日(水) ~ 23 日(金)

会 場 : 1号館 特設ルーム Aルーム・Bルーム

定 員 : 各テーマ毎 70 名

参加者数 : 延べ 1,294 名

21 日(水)

	Aルーム	Bルーム
11:00-11:35	(株)マツボー 固液分離技術及びドイツ HEINKEL 社の F 型フィルター反転式遠心分離機の紹介	
11:45-12:20	(株)アーステクニカ マイクロ波、減圧、熱風を利用した 攪拌式乾燥機での乾燥・コーティング技術の紹介	シスメックス(株) 粉体材料の BET 比表面積、細孔分布、気孔率 及び密度の測定と解析について
13:00-13:35	(株)島津製作所 ナノ粒子測定の新たな挑戦	(株)ダルトン 高速で精度の高い 分散・混合装置スパルタンミキサー
13:45-14:20	アシザワ・ファインテック(株) 乾式ミルによる超微細化技術と湿式ミルとの 組合せによる高効率粉碎”エコ粉碎”	大塚電子(株) 分散剤自動添加システムを用いた粉体粒子の 粒子径、ゼータ電位による分散評価
14:30-15:05	(株)品川工業所 新規な高速混練造粒機(トリプルマスター) による粒子設計	日清エンジニアリング(株) 生産能力向上を実現するコンテナシステム
15:15-15:50	ツカサ工業(株) 製パン・製菓・製麺工場における 衛生的給粉システム	フロイント産業(株) 高性能ハイコーターFZ、他の製品紹介

22 日(木)

	Aルーム	Bルーム
11:00-11:35	高砂工業(株) マイクロ波ハイブリッドキルンの 加熱メカニズムについて	ベックマン・コールター(株) 新型のコールターカウンターである Multisizer 4 を紹介します。
11:45-12:20	東洋ハイテック(株) 多様な最先端コーンバルブテクノロジー Clever-Cone & VISVAL	(株)島津製作所 ナノ粒子測定の新たな挑戦

13:00-13:35	(有)G-Labo 過熱水蒸気で効率良く加温・加湿を行うシステム	(株)大川原製作所 エネルギー消費量を大幅に削減します！ 新しい乾燥システムの提案
13:45-14:20	ケイ・エイチ工業(株) ダウンフローシステムによる、 集塵機の省スペース化	(株)アーステクニカ 新開発の流動層式ジェットミルの特長と 用途例の紹介
14:30-15:05	日本コークス工業(株)：旧社名 三井鉱山(株) 機能性粒子を創造する粒子設計装置	(株)パウレック 米マイクロフルディックス社製 ナノ粒子・ナノエマルジョン製造装置の紹介
15:15-15:50	アシザワ・ファインテック(株) 固液混合機・ビーズミル・脱泡機を組合せた 湿式ナノ分散システム	日清エンジニアリング(株) 粉碎・分級による 最先端粒子径コントロール技術の紹介

23日(金)

	Aルーム	Bルーム
11:00-11:35	日本ニューマチック工業(株) 新型気流式分級機UFS / UFCによる、 超微粉碎・分級事例のご紹介	日本フェンオール(株) 粉塵爆発に対する安全対策について
11:45-12:20	(株)松島機械研究所 粉体プロセス用監視機器のご提案	日機装(株) 粒度分布・ゼータ電位・画像解析による 粉体評価の最新技術のご紹介
13:00-13:35	(株)ダルトン 粉体原料を液体へ効率よく分散・混合する 吸引分散攪拌機 Conti-TDS	赤武エンジニアリング(株) 多品種少量生産に対応する計量装置
13:45-14:20	(株)堀場製作所 ナノ粒子キャラクタリゼーション解析のための 最新測定技術をご紹介。	杉山重工(株) キューブローターミル 誘電体やLiB等の 高性能材に対応したコンタミレス微粉碎機について
14:30-15:05	ホソカワミクロン(株) 液状からケーキ状まで、幅広い原料の乾燥を 可能にした『媒体攪拌型気流乾燥装置』	(株)セイシン企業 レーザー回折・散乱粒度分析計による、 微量溶媒、微量試料での湿・乾式測定技術
15:15-15:50	(株)栗本鐵工所 高回転高トルク型押出機・高収率型ジェットミル・ セルフクリーニング型濃縮機の紹介	東洋ハイテック(株) amixon ミキサー / ドライヤー 世界が認めた混合・乾燥性能と洗浄性

8. ナノパーティクルテクノロジーゾーン出展社プレゼンテーション

会 期 : 2009年10月22日(木)

会 場 : 2号館主催者コーナー 特設オープンステージ

定 員 : 各テーマ毎 40名

参加者数 : 延べ316名

12:00-12:15	大明化学工業(株) ベーマイト粉体及び高純度アルミナビーズについて
12:20-12:35	日清エンジニアリング(株) 高周波熱プラズマ法によるナノ粒子のサンプル製造から事業化規模での受託加工の紹介
12:40-12:55	化学工学会 粒子・流体部会 粉体プロセス分科会 化学工学会 粒子・流体部会 粉体プロセス分科会の活動紹介
13:00-13:15	日機装(株) 動的光散乱式粒度分布・ゼータ電位計ナノトラックシリーズのご紹介
13:20-13:35	日本電子(株) 高周波誘導熱プラズマ法によるナノ粒子合成と粉末供給装置
13:40-13:55	リオン(株) リオンパーティクルカウンタによるナノ粒子計測について
14:00-14:15	(株)ダルトン ナノマテリアル対策キャビネットのご紹介
14:20-14:35	興研(株) ナノマテリアル対策用呼吸用保護具について
14:40-14:55	東京ダイレック(株) ナノ粒子計測装置の紹介
15:00-15:15	寿工業(株) ナノ粒子分散装置 アベックスミルシリーズにおける分散実施例
15:20-15:35	(株)アイシンナノテクノロジーズ 超微粉碎機ナノジェットマイザー及び超微量定量供給機マイクロンフィーダーのご紹介
15:40-15:55	(株)ナノリサーチ エアロゾルナノ加工技術による酸化物および金属ナノ粒子の合成と特徴
16:00-16:15	大阪府地域結集型共同研究事業 ナノカーボン活用技術の創成

会 期 : 2009年10月23日(金) 11:00~16:00

会 場 : 2号館主催者コーナー 特設オープンステージ

“粉体技術”に関する映像を、研究者の方々にご協力いただき、会場内にて放映いたしました。

<研究者からの映像> (敬称略)

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------------|
| ・“体感”から、どこまで粉の性状を識ることができるか? | 横浜国立大学 環境情報研究院 車田 研一 |
| ・空気振動を用いた二重構造ホッパーからの粉体供給 | 大島商船高等専門学校 電子機械工学科 尾形 公一郎 |
| ・予混合火炎温度分布の振動挙動 | 山口大学大学院理工学研究科機械工学専攻 田之上 健一郎 |
| ・固気流動層を用いた乾式比重分離技術 | 岡山大学 押谷 潤、吉田 幹生、後藤 邦彰 |
| ・粒子沈降の直接数値計算 | 京都大学大学院工学研究科 山本 量一 |
| ・ナノ粒子をオンデマンドに立体プリンティングします | 大阪大学 近藤 光、阿部 浩也 |
| ・2次元噴流層における粒子冷却過程 | 大阪大学 川口 寿裕 |
| ・スクリーフィーダーの内部がDEMで見えます | 山形大学 木俣 光正 |
| ・DEMによる媒体攪拌ミル内ビーズ挙動のシミュレーション | 東北大学多元物質科学研究所 加納 純也 |
| ・界面活性粒子が付着したエマルションの流体マイクロシミュレーション | 京都大学 新戸 浩幸 |
| ・プラグ内の粒子挙動 | 日本大学理工学部機械工学科 河府 賢治 |

<すごい粉 ベスト3>

- ・TV放映された「ザ・ベストハウス 1・2・3」から、“粉体技術”を紹介

<~粉の世界を科学する~ 微粒子から超微粒子へ>

(社)日本粉体工業技術協会 監修 DVD

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 食品から宇宙まで | 8. 粉体の応用分野 |
| 2. 粉体とは | 液晶ディスプレイのスペーサー粒子 |
| 3. 粉体の大きさ | マイクロカプセル |
| 4. 粒子径はどうやって測る | 電子コピー機のトナー粒子 |
| 5. 高純度の粉体を作るには | カーボンナノチューブとフラレーン |
| 6. 粉にすることによって現れる機能 | 9. 地球の環境を守る超微粒子 |
| 7. 粉体化のメリット | 粉の流動化の利用 |
| | 光触媒超微粒子 |

パウダー テクノロジー ショー
9. Powder Technology Show

会 期 : 2009年10月24日(土)

会 場 : 2号館主催者コーナー 特設オープンステージ

2 研究機関の研究者の方々にご協力をいただき、“粉体技術”について実機を用いて、わかりやすく解説しました。

11:00 ~ 11:50 / 13:00 ~ 13:50

岡山大学大学院 自然科学研究科 押谷 潤 先生

「粉体の流動化現象と小型流動層の実演」

12:00 ~ 12:50 / 14:00 ~ 14:50

同志社大学 理工学部 化学システム創成工学科 粉体工学研究室 下坂 厚子 先生

「粉体の流れの不思議とその利用」



広報宣伝活動

主催者では、来場者動員のため下記の広報活動を行った。

1. 和文招待状の配布

出展社へ	約 140,000 部
主催者より	約 25,000 部

*新たなユーザー誘致のため、主催者より下記の来場対象者に向けて、招待状を送付した。

- ・関連ユーザーの工場長
- ・関連ユーザーの研究所長
- ・関連ユーザーの技術・研究開発部門 / 製造・生産 / 購買・資材 担当者
- ・関連する研究者(大学・研究機関など)
- ・関連する教育機関(大学・高等専門学校など)
- ・主要ユーザーの所属する団体の会員企業の近畿地方 研究所長・工場長
- ・近畿地方の商工会議所メンバーの関連ユーザー
- ・関連する研究者(大学・研究機関など)
- ・(社)日本粉体工業技術協会会員
- ・新聞・雑誌等プレス 他
- ・協賛団体等の関連団体

*これまでに本展に来場された実績のあるユーザーに招待状を送付した。

- ・これまでの大阪展来場者からセレクト
- ・粉体工業展(東京および名古屋)来場者からセレクト

2. 英文招待状の配布

出展社・主催者より	約 10,000 部
主な送付先	前回および東京展への海外来場者 国内主要領事館

3. ポスターの配布

約 600 部

関連団体や出展企業・(社)日本粉体工業技術協会会員などに送付し、掲示を依頼した。

4. 関係媒体への広告掲載

媒体名	発行元
M & E	工業調査会
化学工学	化学工業社
化学装置	工業調査会
資源環境対策	環境コミュニケーションズ

実用産業情報	ニューマチック
食品工業	光琳
製剤機械技術研究会会誌	製剤機械技術研究会
日工フォーラム	フジサンケイ ビジネスアイ
粉体工学会誌	広信社
プラスチックス	工業調査会
粉体技術	(社)日本粉体工業技術協会
化学工業日報	化学工業日報社
大商ニュース	大阪商工会議所
日刊工業新聞	日刊工業新聞社
フジサンケイ ビジネスアイ	フジサンケイ ビジネスアイ

5. 特別協賛・協賛団体への協力依頼

特別協賛 4 社・団体、および協賛 58 団体に対し、下記のような PR 協力を依頼した

- ・ホームページ上での「粉体工業展大阪 2009」バナー広告の掲載
- ・機関紙・会報などへの「粉体工業展大阪 2009」開催記事掲載
- ・「粉体工業展大阪 2009」ポスターの掲示
- ・会員への招待状の送付

6. プレスリリースの発行

各社のみどころ、展示会の概要や特徴をまとめたリリースを作成し、約 200 紙誌に送付、記事掲載および会期中の取材依頼を行った。

7. インターネットホームページ - 公式サイトアドレス <http://www.appie.or.jp>

(社)日本粉体工業技術協会のホームページより、展示会バナーを掲示し、本展の詳細を記したページにリンク設定をし、開催に関する案内や出展社のみどころなど、ネット上でもさまざまな情報が得られるような案内を行った。

主な掲載内容は下記のとおり。

開催概要

出展社一覧

出展製品紹介(新製品・ロングセラー製品の紹介)

出展製品検索システム

ユーザー別 TOPICS・新製品情報

機種別新製品・主要製品紹介

併催イベントプログラム

同時開催・併催企画のごあんない

会場へのアクセス

「出展社一覧」に加え、出展社の情報を発信する個別ページを作成。

新製品・ロングセラー製品を紹介した他、「機種別新製品・主要製品紹介(写真付)」、「ユーザー別 TOPICS ページ」を設け、ホームページを閲覧した来場予定者が、より詳細な出展社に関する情報を事前に入手できるようにした。

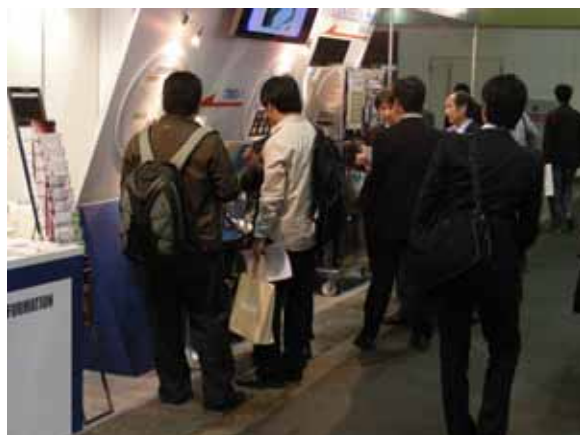
また、製品検索システムを新設した。

来場希望者には来場事前登録フォームを設け、入場手続きを簡素化した。

加えて、本展示会のモニターとして登録された方に、設問項目 約 30 項目の記述式アンケートに回答いただくシステムをつくり、展示会見学後に回収、来場者の声の聞き取りを行った。

8. 「粉体工業展大阪 2009」展示会場・出展社案内

展示会場案内(平面図)、全出展社の所在地・Tel・Fax・ホームページアドレス・担当部課名・出展製品を掲載した出展社一覧および出展製品インデックスを収録し、会場入口にて配布した。



主催者 - (社)日本粉体工業技術協会コーナー

1. 協会活動案内

協会の事業方針、活動方針の紹介。

協会誌 “粉体技術”の紹介をはじめ、各種資料の配布を行った。

2. 技術相談コーナー

粉体現場でお困りのことや、普段からの疑問などを、お気軽に相談いただける技術相談コーナーを設置。

各日3ブースで行った。相談件数 53件。

相談は無料とし、展示会ホームページからの事前予約と各日11:00から協会コーナー受付にて当日受付を行った。

技術相談コーナーは、3日間とも13:30から16:10まで、1枠20分単位。

技術相談コーナーのスケジュール

月 日	相談員名・所属および専門分野
10月21日(水)	富田 侑嗣 氏 九州工業大学名誉教授(前:機械知能工学科教授) (専門分野:空気輸送、スラリー輸送)
	牧野 尚夫 氏 (財)電力中央研究所 エネルギー技術研究所 副所長・研究参事 (専門分野:集じん技術、微粒子計測、粉体の燃焼)
	齋藤 文良 氏 東北大学 多元物質科学研究所 所長・教授 (専門分野:粉碎、メカノケミストリー、リサイクル、微粒子製造)
10月22日(木)	佐藤 宗武 氏 佐藤粉体テクノラボ(元:大阪府立大学大学院 物質・化学系専攻教授) (専門分野:材料プロセス工学、混合混練分散複合粒子・粉体動的物性評価)
	椿 淳一郎 氏 名古屋大学大学院工学研究科 物質制御工学専攻教授 (専門分野:スラリー、ペーストの評価及び操作、ろ過、粉体諸特性評価、粒子径分布測定)
	中村 正秋 氏 名古屋大学名誉教授 中村正秋技術事務所代表(元:名古屋大学大学院工学研究科教授) (専門分野:資源・環境、粉体反応装置、乾燥工学)
10月23日(金)	竹内 洋文 氏 岐阜薬科大学薬物送達学大講座製剤学研究室教授 (専門分野:医薬品製剤、粒子設計)
	奥山 喜久夫 氏 広島大学大学院 物質化学システム専攻教授 (専門分野:化学工学、伝熱工学、材料合成、エアロゾルの科学と工学)
	榎本 兵治 氏 東北大学名誉教授(前:東北大学環境科学専攻教授) (専門分野:粉じん爆発)

3. 19 分科会パネル展示

(社)日本粉体工業技術協会には、粉体技術の進歩向上を図るために産学官が協力して技術分野別に、19 の分科会が設けられており、これらの分科会における最近の技術課題と展望(近未来技術)および各分科会の活動報告と次年度の活動計画をパネルで展示した。

バルクハンドリング分科会

粉碎分科会

分級ふるい分け分科会

乾燥分科会

集じん分科会

混合・成形分科会

造粒分科会

計装測定分科会

湿式プロセス分科会

粒子加工技術分科会

輸送分科会

クリーン化分科会

環境エネルギー・流動化分科会

晶析分科会

微粒子ナノテクノロジー分科会

電池製造技術分科会

リサイクル技術分科会

電子写真技術分科会

食品粉体技術分科会

4. 標準粉体展示コーナー

(社)日本粉体工業技術協会が製造販売する、「JIS 試験用粉体」や「APPIE 標準粉体」「APPIE 検定用粒子」の商品見本の展示や、関連資料の配布、および標準粉体に関する相談を受け付けた。

5. 協会誌“粉体技術”の紹介

(社)日本粉体工業技術協会が編集・発行する粉体産業に係わる方々のための総合情報誌 “粉体技術”の紹介を行った。

6. 関連資料販売

(社)日本粉体工業技術協会編集の図書、調査資料、講習会テキストなどの見本展示、販売を行った。

7. 来場者に、「粉体技術総覧 2008/2009」(冊子と CD-ROM)を先着にて配布した。



出展社一覧

社名は、2009年10月24日現在 / *は (社)日本粉体工業技術協会 会員を示す。

- (株)アーステクニカ *
/ 深江パウテック(株) *
(有)IMP
/ 双日マシナリー(株)
(株)愛工舎製作所 *
(株)アイシス
アイシン産業(株) *
愛知電機(株) *
赤武エンジニアリング(株) *
(株)暁製作所
アシザワ・ファインテック(株) *
アズワン(株)
アマノ(株) *
アルファ(株)
(株)イーピーテック
(株)エー・アンド・デイ
エー・ピーアンドティー(株)
江崎グリコ(株)
エステック(株) *
大川原化工機(株) *
(株)大川原製作所 *
大塚電子(株) *
(株)化学工業日報社
カネキタ(株)
(株)菊水製作所 *
協和ステンレス(株)
/ 新光産業(株)
(株)栗本鐵工所 *
/ 八洲化工機(株)
ケイ・エイチ工業(株)
晃栄産業(株) *
/ 新東亜交易(株)
(株)工業調査会
興和(株) *
/ アキラ機工(株)
(株)興和工業所 *
佐竹化学機械工業(株)
サマック(株) *
三庄インダストリー(株)
/ エヌピーエーシステム(株)
三立機器(株)
サンレックス工業(株)
/ アドバンスト・ナノ・テクノロジー(株)
/ (株)エース技研
/ (株)ニューメタルス エンド ケミカルス コーポレーション
三和エンジニアリング(株)
(株)三和化学研究所
(株)CPFD Lab. *
/ (株)CFD研究所
(有)G-Labo
シスメックス(株) *
(株)品川工業所 *
シニオン(株)
/ 大栄産業(株)
(株)島津製作所 *
(株)新栄機械製作所
(株)シンキー
新東工業(株) *
(株)スイデン *
菅原精機(株) *
(株)スギノマシン
(株)スギヤマゲン
杉山重工(株) *
(株)セイシン企業 *
(株)ソディック新横 トム事業部
第一実業(株) *
/ (株)新栄機械製作所
/ (株)テクニカ
大盛工業(株) *
太陽計測(株)
高砂工業(株) *
タケモトデンキ(株)
(有)タテック工業
(株)田中電気研究所
(株)ダルトン *
/ 不二パウダル(株) *
DANDONG BETTERSIZE INSTRUMENTS LTD.
CHINA POWDER TECHNOLOGY ASSOCIATION
ツカサ工業(株) *
月島機械(株) *
/ 月島テクノマシナリー(株)
筒井理化学器械(株) *

(株) 椿本バルクシステム *
(株) テクノサポート
/ テクノウエイブ(株)
/ シルバーソン社
/ WOODEX社
/ エフジェーテック熊野研究所
DKSHジャパン(株):旧社名 日本シベルヘグナー(株)
東京アトマイザー製造(株) *
東京スクリーン(株) *
/ (株) セムテック エンジニアリング
(株) 東広
東芝機械(株)
東洋ハイテック(株) *
(株) 徳寿工作所 *
富永物産(株)
トリプルエーマシン(株)
/ 米国パウダーショー2010
(株) 永瀬スクリーン印刷研究所
(株) 日刊工業新聞社 *
日機装(株) *
日機装エイコー(株)
/ 日機装(株) *
日工(株) *
日清エンジニアリング(株) *
日本アイリッヒ(株) *
日本ヴァリティー
日本コークス工業(株) *:旧社名 三井鉱山(株)
日本興産(株)
日本ニューマチック工業(株) *
日本フェンオール(株)
日本マグネティックス(株) *
日本ルフト(株)
(株) 日本レーザー *
(株) ニューマチック
(株) ノリタケカンパニーリミテド *
(株) パウレック *
パシフィックサイエンス(株)
(株) 日阪製作所
(株) ヒライ
ファイク・ジャパン(株)
藤崎電機(株) *
フジサンケイ ビジネスアイ *
(株) プリス *
フリッチュ ジャパン(株)
古河産機システムズ(株) *

フロイント産業(株) *
(株) 粉研パウテックス *
粉体工学会
ベックマン・コールター(株) *
ホソカワミクロン(株) *
(株) 堀場製作所 *
(株) マウンテック *
(株) 前川工業所 *
(株) マキノ *
(株) 松島機械研究所 *
(株) マツボー *
真鍋工業(株) *
(株) 三菱化学アナリテック
三菱マテリアルテクノ(株) *
ミルシステム(株)
メトラー・トレド(株)
(株) ヤヨイ
ユーグローブ(株)
ユーシー・ジャパン(株)
/ ARTECH ULTRASONIC SYSTEMS AG
(株) ユニックス
吉田機械興業(株)
(株) ワイ・エム・エス
ワムジャパン(株) *

ナノパーティクルテクノロジーゾーン

(株) アイシンナノテクノロジーズ
エフ・アイ・ティー・パシフィック(株)
(財) 大阪科学技術センター
化学工学会 粒子・流体部会 粉体プロセス分科会
興研(株) *
寿工業(株) *
独立行政法人産業技術総合研究所
大明化学工業(株)
(株) ダルトン *
東京ダイレック(株)
(株) ナノリサーチ
日機装(株) *
日清エンジニアリング(株) *
日本電子(株)
(社) 日本粉体工業技術協会
「ナノ物質の安全性向上のためのガイドライン作成委員会」
(株) 日立プラントテクノロジー *
リオン(株) *

大阪粉体工業展委員会名簿

委員長	島田 啓司	(株)菊水製作所	代表取締役社長
副委員長	加藤 文雄	ツカサ工業(株)	代表取締役社長
副委員長	瀬尾 博幸	(株)ダルトン	粉体事業部 営業本部長
アドバイザー	真鍋 功	真鍋工業(株)	代表取締役社長
委員	大崎 潤一	(株)椿本バルクシステム	大阪営業部部長
委員	甲木 宏明	(株)ミューチュアル	取締役常務執行役員営業本部長
委員	窪田 潤	ホソカワミクロン(株)	管理本部総務部部長
(学会担当)	後藤 邦彰	岡山大学大学院	自然科学研究科 物質応用化学専攻 教授
委員	椎 一由	(株)セイシン企業	大阪支店係長
委員	島岡 治夫	(株)島津製作所	分析計測事業部 試験機ビジネスユニット プロダクトマネージャ
出展促進副主査	菅原 一博	菅原精機(株)	代表取締役社長
出展促進副主査	杉山 周宏	杉山重工(株)	取締役会長
会場運営副主査	高倉 正紀	(株)栗本鐵工所	機械システム事業本部機械事業部 粉体システム営業部部長代理
(学会担当)	竹内 洋文	岐阜薬科大学	製剤学教室 教授
広報主査	谷 正美	日刊工業新聞社	大阪支社 広告局 局長
委員	谷本 友秀	(株)徳寿工作所	代表取締役社長
会場運営主査	寺田 勝信	真鍋工業(株)	取締役営業部長
会計監査	中川 晴雄	ナカガワ胡粉絵具(株)	代表取締役社長
出展促進副主査	古川 敏弘	日清エンジニアリング(株)	大阪営業所 所長
出展促進主査	三谷 哲雄	東洋ハイテック(株)	代表取締役会長
(学会担当)	宮原 稔	京都大学大学院	工学研究科 化学工学専攻 教授
広報副主査	吉岡 浩一	フロイント産業(株)	機械本部・営業部 大阪営業グループグループリーダー
事務局	豊見 昭	(社)日本粉体工業技術協会	事務局長

会場運営ワーキンググループ委員

ワーキング委員	今村 俊裕	(株)椿本バルクシステム	大阪営業部グループリーダー
ワーキング委員	大内 義弘	杉山重工(株)	営業技術課課長
ワーキング委員	勝間 健太	(株)栗本鐵工所	機械システム事業本部 機械事業部 粉体システム部 大阪営業課
ワーキング委員	古賀 雅昭	東洋ハイテック(株)	リユース事業部主事
ワーキング委員	小林 弘尚	(株)菊水製作所	営業部営業課
ワーキング委員	椎 一由	(株)セイシン企業	大阪支店係長
ワーキング委員	重谷 憲彦	ホソカワミクロン(株)	大阪本社 営業本部 営業部 営業第5課課長
ワーキング委員	菅原 尚也	菅原精機(株)	取締役
ワーキング委員	高原 修二	(株)ダルトン	営業2部1課課長
ワーキング委員	谷村 光則	(株)島津製作所	分析計測事業部 マーケティング部 プロモーショングループ
ワーキング委員	津田 厚	フロイント産業(株)	機械本部 営業部 大阪営業2G
ワーキング委員	土井 芳人	ツカサ工業(株)	営技 部執行役員副部長
ワーキング委員	橋本 春千代	真鍋工業(株)	営業部課長
ワーキング委員	吉留 信博	日清エンジニアリング(株)	大阪営業所 所長代理

次回開催予定

粉体工業展大阪 2011

POWTEX OSAKA 2011

- 会期 : 2011年10月
会場 : インテックス大阪(南港)
主催 : (社)日本粉体工業技術協会

問い合わせ先 : (社)日本粉体工業技術協会

<http://www.appie.or.jp>

Tel. 075-354-3581 Fax. 075-352-8530

本部事務局

社団法人日本粉体工業技術協会

〒600-8176 京都府京都市下京区烏丸通り六条上ル北町 181 第5キョートビル 7F

Tel. 075-354-3581 Fax. 075-352-8530

展示会事務局

株式会社シー・エヌ・ティ

〒101-0048 東京都千代田区神田司町 2 - 2 - 2 大森ビル 4F

Tel. 03-5297-8855 Fax. 03-5294-0909 powtex.09@cnt-inc.co.jp